

■ どの程度のフィルタリングが提供されるのが望ましいか。

① 青少年の単独での利用の程度

青少年の単独での利用の程度の高い機器ほど、より容易に保護者がフィルタリングを利用できるような措置が講じられることが望ましい。

② インターネット上のオープンなサイトの利用状況

インターネット接続機器には、インターネット上のオープンなサイトに接続する機器と、クローズなサイトにのみ接続する機器が存在するため、フィルタリングの提供にあたっては、このような接続先サイトの特性に応じた対応がなされるのが望ましい。例えば、クローズなサイトにのみ接続する機器では、パスワードロック方式も含めた対応の中から適切な対応が選択されることが望ましい。

■ どのような方法でフィルタリングが提供されるのが望ましいか。

③ 機器の性能

フィルタリングに対応する性能(主に計算能力や記憶容量等)が備わっていない機器については、機器側に負担の少ないフィルタリング方式が選択されるよう、インターネット接続役務提供者、機器製造事業者等が連携することが望ましい。

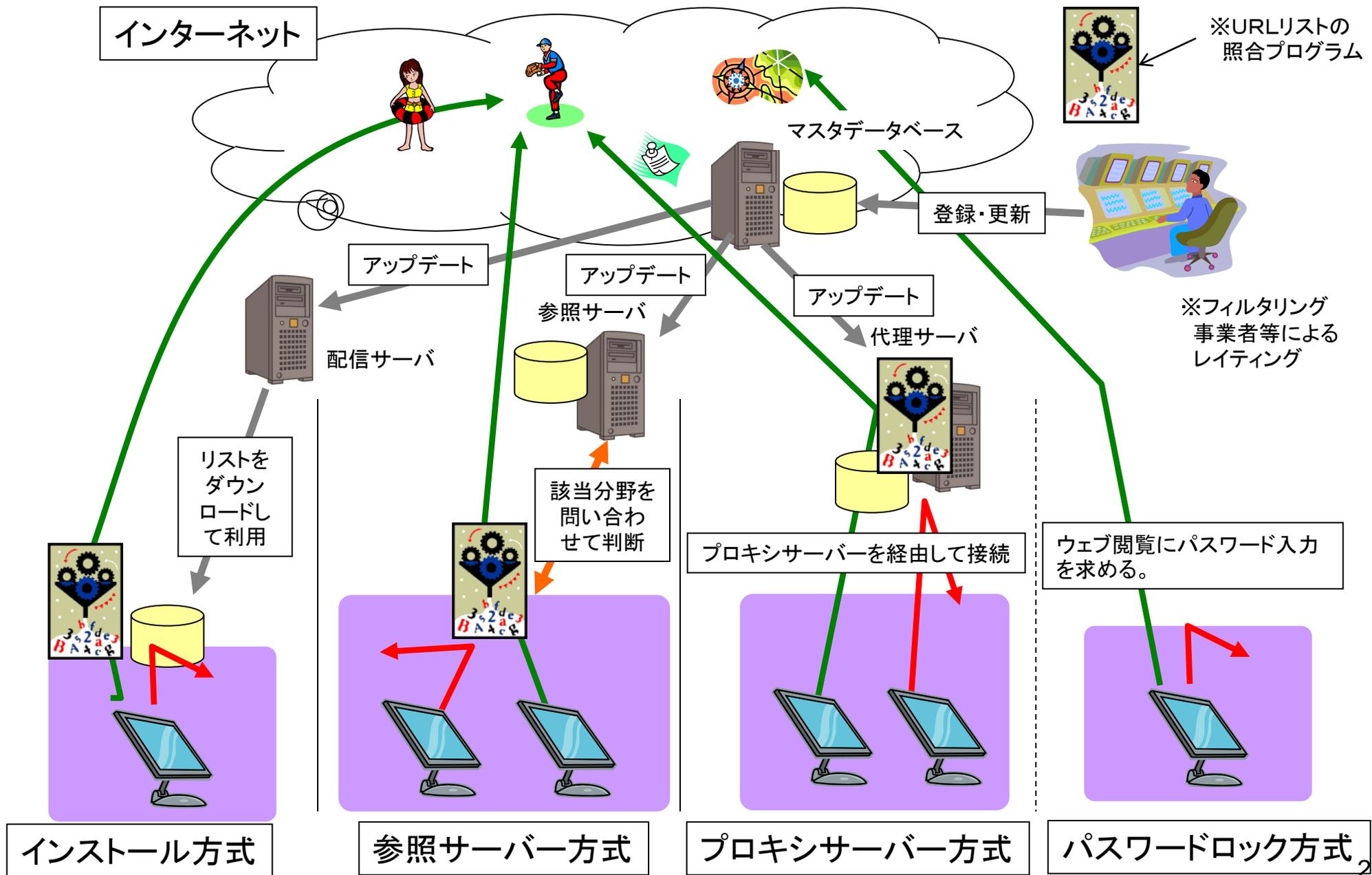
④ 機器の可搬性(※)

可搬性の高い機器については、利用者の移動等によって随時接続経路が変化しても、フィルタリングが切れ目無く提供されるように、関係事業者が連携することが望ましい。

※可搬性を考慮する理由は、様々な接続経路でインターネットに接続する状況を考慮する必要があるためである。したがって、今後、可搬性の無い機器においても様々な接続経路でインターネットに接続する事例が増加すれば、可搬性の無い機器についても様々な接続経路でインターネットに接続しても切れ目無くフィルタリングが提供される方法が望ましいという判断がなされることになる。

(参考1) フィルタリングの提供方式

※「保護者のためのフィルタリング研究会」内の資料を加工して利用



インストール方式

参照サーバー方式

プロキシサーバー方式

パスワードロック方式₂

(参考2) クローズなサイトの例

